

2018 年 12 月 12 日

総務省「デジタル変革時代の ICT グローバル戦略懇談会」 意見資料

早稲田大学 三友仁志

1. ミレニアム開発目標 (MDGs) から持続可能な開発目標 (SDGs) へ

- MDGs : 途上国課題中心、2015 年までに達成すべき 8 つのゴール、21 のターゲット、60 の指標
- SDGs : 全世界、2030 年までを対象に、17 分野 169 項目の具体的な達成基準。ICT は 17 分野の多くに関わることができる

2. SDGs は概念ではなく、実践的な貢献が求められている

- 絵を描くだけでなく、具体的に何にどう貢献したかが重要

3. ICT を活用した SDGs への貢献は進んでいる

- 世界の ICT 企業は SDGs に向けた貢献に積極的
例 : Huawei “Accelerating SDGs through ICT”
「2018 年度ファーウェイ ICT の持続可能な発展に向けたベンチマーク (ICT Sustainable Development Goals Benchmark)」 (2018)
ICT がもっとも関連する 3 つの分野 : 4.Quality Education, 3.Good Health and Well-being, 9.Industry, Innovation and Infrastructure
- CSR の重要な要素となっているが、1 企業で対応できる目標ではなく、マルチステークホルダーの協力体制が必要
 - そこに総務省の役割を見出せるかが、最大の課題

4. 日本スタンダードと国際スタンダードの差を認識する

- 「日本幻想」は捨てたほうがよい
- 国内仕様の技術活用、政策的発想は×
 - デジタルディバイド解消、ユニバーサルアクセス
 - × 地域情報化
- 英語を使いましょう！

5. 発展途上国が期待するのは技術(サービス)の leapfrogging

- 2G から 5G、6G へ
- 日本のように段階を経て技術を高度化するという発想はない

6. まずはアジアから

- 海外にある日本のネットワークを活用すべき
例 : APTI(Asia-Pacific Telecommunity)の活用⇒オブザーバ参加を求めている